

みんなであつた、いい町へ

イベント

議会だより



- 16 住民と議会との懇談会 99名参加
- 19 若い世代との意見交換会を実施



毎日にぎやか
みさとの大家族

大川正寛さん一家(寺田)

定例会概要	2
条例・補正予算質疑 一般質問	4
所管事務調査	6
住民と議会との懇談会	13
若い世代との意見交換会	16
キラリ美郷人	19
	22



町長4期目の所信表明

人口減少問題に 総合力で対処

雪の中でも元気な子ども達
(千畑なかよし園)

12月定例会を12月6日から15日までの10日間の会期で開きました。審議した内容は、人事案件に対する同意・推薦7件、議会議員の報酬及び旅費等に関する条例の一部改正や平成28年度美郷町一般会計補正予算など37議案。その全てを、原案のとおり同意可決しました。

一般質問は、5議員が登壇して町政を質し、陳情4件を採択し、意見書に関係機関に提出しました。また、議員発議による「地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書」を衆参両院議長と政府に提出しました。

今 定例会では、初めに11月の町長選で無投票により4選を果たされた松田町長の所信表明が行われました。その中で、「引き続き人口減少問題に総合力で対処するため、町の特徴づくりや、住み続ける意思のきつかけとなる具体策などに力を注ぎたい。これからは透明性や公平性を大切にしながら、目の前に迫る諸課題に誠実に取り組み、先々

の展望を見据えた取り組みに汗を流して参りたい。」と述べました。

議 案審議では、六郷畑屋地区簡易水道配水管布設工事第1工区、第2工区、第3工区と千畑中央地区簡易水道配水管布設工事第1工区工事請負契約について、それぞれ施工内容の変更により契約金額の増額をしました。

美郷町議会議長

高橋 猛



年頭のあいさつ

あけましておめでとうございませす。投票行動などをみると、若い世代は政治に無関心?と思われるかもしれませんが、内閣府が毎年実施している「社会意識に関する世論調査」によると、もっと国民が参加できる場を広げるべきと考える人が近年、若い世代で特に顕著になっているようです。この調査は国政に関するものですが、確かにそのように思います。実は、私も議会ではこれまで住民と議会との懇談会をずっとやってきましたが、昨年行ったある会場で、自治会長さんの提案により、40歳以下の世代の方々に呼び掛けていただいて懇談をさせていただいた所がありました。親の会を中心に連絡を取っていただいたようでしたが、ご夫婦の方々も含めて多くの若い皆さんが出席してくれました。若い世

代の視点は違うものがありましたし、若い方々もこういう機会があったというところで大変良かったと思っております。一昨年から行っている、商工会・農協青年部の皆さんと議会との意見交換会でも感じましたが、若い世代の方々は行政に関心がないのではなく、そういう場があまりなかったことであり、こうした面での広聴活動も大変重要だと思っております。

ところで、皆様ご承知のように議会では昨年、議員定数を2人削減し次回から16人とする改正をさせて頂きました。益々責務が増すことになりましたが、より良い町づくりに向けて議会もお一層、研鑽を積んでまいりたいと思います。本年が皆様にとりまして穏やかな年になりますようご祈念申し上げます。

また、指定管理者として住民活動センター・屋内スポーツ館・歴史民俗資料館を特定非営利活動法人みさぼーとに、観光案内休憩広場を町観光協会に、アクティセセンターと堆肥センターを株式会社美郷の大地に、サンスポーツランド千畑温水プールとテニスコートを美郷温泉振興株式会社にそれぞれ指定することとしました。

一般会計補正予算での増額は、1月28日からリオスで開催される、魁星旗フットサル大会補助金30万円、空き家活用型定住・仕事支援事業補助金4件分548万円、3世代同居子育て支援事業補助金1件分150万円、県営基盤整備事業費負担金(金沢地区)4906万円などで、減額は除排雪機械購入費33

71万円、工事請負費3000万円など、歳入・歳出それぞれ7万円を追加し補正後の一般会計予算総額を112億5591万5千円としました。

また、町の監査委員に深澤克太郎氏を選任するなど7名の人事案件に同意・推薦したほか、選挙管理委員及び補充員と秋田県後期高齢者医療広域連合の議員の選挙が行われ、選挙管理委員として鈴木喜美夫氏(土崎南部)、黒川奥子氏(東高方町)、鈴木直保氏(上野荒町)、田郡良太郎氏(石柳)を、補充員として煙山俊幸氏(外川原)、高橋猛氏(明田地)、福田かよ子氏(黒沢)、高橋世紀氏(佐野)を、広域連合議員には松田町長を選出し、閉会しました。

工事設計の変更はなぜ生じたのか!!

議会最終日の12月15日、本会議を再開し、初日に同意・推薦した案件以外の議案について質疑・討論・採決を行いました。以下、主な質疑の内容を要約してお伝えします。

工事請負契約の一部変更について

内容 6月24日に議決した六郷畑地区簡易水道配水管布設工事第2工区請負契約の中で、契約金額5886万円を7045万5600円に変更するものです。

誤認した理由は

森元議員 町の担当者は、給水戸数をなぜ3戸増と誤認したのか。
小林建設課長 会館や事業所を二重にカウントしてしまっ



推進工法の状況

大規模工事になるため

森元議員 推進工法に変更した理由は。
小林建設課長 当初設計した横断暗渠の上を通過する工法では、大規模な工事になるため設計を変更した。

当初設計に落ち度は

森元議員 当初設計に落ち度はなかったのか。
松田町長 当初設計において予見できないこともあり、設計の変更はあることを理解し

てほしい。

佐々木副町長 当該地域の配管のルートが不明で、また地盤軟弱などもあり測量設計段階では予測がつかなかった。

反対討論

森元議員 給水戸数、舗装構成と横断暗渠の見落としは当初段階で判明できることである。金額増についても詳細な説明がなく反対する。

指定管理者の指定について

内容 町住民活動センターの指定管理者に(特法)みさぼーとを指定するものです。

公募によらない理由は

熊谷(良)議員 指定管理者の指定を公募によらないで行った理由は。
高橋(薫)総務課長 町の指定管理者条例に従い公募しないで指定した。
本間企画財政課長 住民活動センターの管理は、みさぼーとの設立目的のひとつであり、指定をした。

地域を限定した理由は

村田議員 東京23区内の業者のみを対象とした理由は何か。

町 地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の制定について

内容 本社機能を町へ移転した業者への支援として固定資産税を軽減するものです。

空き家活用は

深澤(均)議員 空き家活用型定住の需要と供給の関係は。
藤田商工観光交流課長 空き家登録をもらうため、町内外の不動産屋から情報提供してもらっているが、建築年次の新しい物件が早く買われ、町のホームページには大規模改修の必要な古い物件が残っている状況である。

反対討論

泉(美)議員 すべてに反対するものではないが、中にマイナンバーに関する予算が含まれているので賛成できない。住民のプライバシーを危険にさらすマイナンバー制度を進めて行くことには反対である。

一般会計補正予算

地域おこし協力隊の活動は

熊谷(良)議員 地域おこし協力隊への補正内容と今後の活動は。
本間企画財政課長 すでに状況視察を終えたが、今回は応

システムに個人番号をつける

泉(美)議員 社会保障・税番号制度システム改修費等補助金は特定健診情報のことか。
高橋(久)福祉保健課長 保

募者の面接に要する経費である。2人を採用し、中心市街地の活性化や観光資源の発掘と活用をしよう。

防犯灯を設置

村田議員 小規模介護施設等整備費補助金の使途は。
高橋(久)福祉保健課長 特養のルートピア緑泉とルートピア仙南の施設に防犯灯を設置する工事である。

健康センターで管理している特定健診情報システムに個人番号をつけていくものである。

国の制度で補助

村田議員 特養は法人だが、法人化されている施設にも町では補助をするのか。
高橋(久)福祉保健課長 町の要綱ではこのような施設への補助制度はないが、これは国からの制度で補助されるものである。



空き家を新しい使い手へ

4期目の松田町政に問う

町長「各般の取り組みを着実に展開」



村田 薫 議員

今後の展開については、公共施設等総合管理計画を踏まえ、各般の取り組みを着実に展開し、財政健全化に伴う財源確保に努めたい。また、環境変化を踏まえた施策のスクラツ

町長 町では、合併当初から財政健全化を目指して、歳出構造の見直しに係わる公共施設の再編、職員の定員適正化、プライマリーバランス黒字を意識した財政

議員 町長は、4期目の公約に地域産業の振興、地域拠点づくりの推進、教育環境の充実、人口減少化への対応強化、健康長寿の推進を掲げている。これらの公約の実現に加え、住民からの多種多様な要望に応じていくには、しっかりと財源が必要と考える。加えて、平成27年度から普通交付税が漸減されており、町財政を取り巻く環境がさらに厳しさを増す中、町政運営にどう取り組んでいくのか



4期目の所信表明をする松田町長

プ・アンド・ビルド、多額の投資事業における投下予算の平準化など、公約や町民要望を含む各般の取り組みの必要財源の確保に努めてまいりたいと考えている。

町長 県内においてタクシー券への助成を実施している自治体があるが、定額助成だと利用する距離により個人負担が高くなるということになる。一方、乗り合いタクシーは区域内は距離にかかわらず均一料金としており、負担は軽いものとなっているので、運転免許証を返納した方は、乗り合いタクシーを利用していただきたい。また、重度の障害者へのタクシー利用券の助成については、平成29年度中に改定予定の障害福祉計画の中で、全般にわたり実態把握に努め、どう判断すればよいか今後検討して参りたい。

タクシー利用券の助成を

議員 近年高齢者ドライバーによる交通事故が頻繁に報道されている。解消法の一つとして、自動車運転免許証を返納した方、及び全盲の視力障害者の方々にタクシー券の助成をしてみてもと思うが、考えをうかがう。

一般質問

5議員が10項目を質す

質問者

村田 薫 議員

- ◇ 4期目の松田町政に問う
- ◇ タクシー利用券の助成を

深澤 均 議員

- ◇ 減反政策見直し後のコメ作りについて
- ◇ 金婚式について
- ◇ ウォーキングコースについて

熊谷 良夫 議員

- ◇ 畠久神社の維持管理について
- ◇ 流雪溝の新設について

熊谷 隆一 議員

- ◇ 農業について

泉 美和子 議員

- ◇ 就学援助制度の拡充を
- ◇ 若者世帯への家賃補助制度を

一般質問とは？

一般質問は、年4回の議会定例会において行われます。議題とは関係なく、行財政全般にわたる議員主導による政策論議であるため、通告制が採用されています。通告（質問の届け出）は、議員個人の判断によります。

12月14日の本会議において一般質問が行われ、5議員が10項目にわたって質問を行いました。以下、質問・答弁の内容を要約してお伝えします。



議員 均 深澤

減反政策見直し後のコメ作りは 町長「複合経営で営農維持を模索すべき」

議員 国による減反政策が見直されることに伴い、見直し後の県の方針が示された。それは、市場動向を見極め過剰生産を防ぎ、販売拡大を進める役割を市町村とJAなど集荷業者に委ねるという内容であったが、過剰米の発生や米価下落などに農家の不安や不満の声が聞かれるので、次の2点についてうかがう。

①町およびJAなどの果たす役割について
②町が目指す水田農業の将来像について

町長 国は、生産数量目標の配分を平成30年度には廃止することを決定した。

①町としては、県の算出方法を基に地域農業再生協議会として、独自の生産目安を算定しJAや集荷業者などに提

金婚式について

議員 金婚式は、近年、参加者が減少傾向にあり残念に感



公民館で行われた金婚をお祝いする会

ウォーキングコースについて

議員 これからの季節は運動不足になりがちであり、安全にウォーキングできるコースがほしいといった声がある。そこで、六郷カントリー前の歩道を指定し推進してはどうか。

町長 提案のコースは、積雪時には除雪作業等があり危険が伴うので、町としてはむずかしいといわざるを得ない。屋内では、リリオス2階に1周200メートルのランニングコースがありイベントが行われていない限り利用できる。また、北・中央・南体育館も活用していただきたい。

畠久神社の維持管理と資料の保存を

町長「維持管理はできないが資料展示を検討」



議員 良夫 熊谷

議員 畠久神社は、六郷村の初代村長であり現在の花巻大曲線の前身である荒川街道開通に尽力された畠山久左衛門翁を祀つてある神社であり、現在は有志の方々が管理している。その功績を町民に理解して頂くため、翁にまつわる資料の保存と畠久神社の維持管理を町でできないか、見解をうかがう。

町長 町は、これまで先覚者に対して文献等の収集などを通じて記録を保存することに主眼を置きながらその一部について展示してきた。その流れをふまえ歴史民俗資料館において、今後旧町村の地域づくりに尽力された方々についても展示していくこととしており、今年度中に一部展示替えを計画している。畠山久左



初代六郷村長、畠山久左衛門



畠久神社

流雪溝の新設を

議員 美郷交番から山崎竹材店までの角館・六郷線バイパスの道路側溝に、流雪溝の新設はできないか見解をうかがう。

町長 流雪溝を新設するには、水源の関係、整備工事費の負担、排水先の関係や責任ある維持管理組合等を結成し自主運営できるのかという様々な課題がある。技術的な課題を

衛門翁についてもその中で紹介したいと考えている。なお、畠久神社については神社仏閣の管理に関することであり、憲法で定める政教分離原則の観点から町が維持管理に係わっていくことは出来ないで、地域の方々が管理していただけるよう理解を願う。

仮に解決したとしても、自主運営できない限り県では事業化がきわめて困難と判断するのではないかと考える。町としては、県に対して地域住民の声はきちんと伝えていくが、要望されている関係住民の方々が、これまで説明した課題に対してどう考えているのか、なんらかの機会を通じて把握に努めていきたい。



熊谷 隆一 議員

農業者の高齢化への対応は 町長「新規就農者の確保・支援に努める」

議員 農業を取り巻く情勢は厳しいものがあるが、今後の農政の展開についてうかがう。

①農業者の高齢化への対応について

②酒造好適米や特定用途の米の生産販売について

③米以外の作物や畜産の振興について

④町内産農産品の販売について

⑤農業者団体との企画の連携について

町長 ①農業従事者の高齢化の原因は後継者不足であり、そのため新規就農者の確保に努めてきた。今後も各般の支援策を継続していく。また、新規就農者の成功事例などを積極的に紹介し、やる気を喚起する取り組みにも力を注いでいく。

②酒造好適米や特定用途の米については、需要に応じた生産になると思うので、将来的にさらに拡大されるよう行政として、支援が必要であればなんらかの支援策を講じていきたい。

③米以外の作物のいつそうの生産振興を進めていく。また、生葉は、本格栽培に向けて栽培農家及び栽培面積を確保するとともに、農家への指導普及を推進していく。

畜産については、国、県の補助事業の紹介や優良牛の飼育奨励事業など、今後も安定した畜産経営の支援に努める。

④美郷町ふるさとオーナー制度では、美郷米やシャインマスカットなどを発送している。また、ふるさと納税に対する



どうなる今後の農業

返礼品は、それに対応できる町内事業者、生産者を募集するので、ぜひ登録していただきたい。

また、今年度から、町内産農産物・加工品等の販売促進や町のPRのため、県外および首都圏の大型店舗、イベント等へ出店販売を行う団体等に対して経費の一部を助成している。販売促進、販路拡大ができるよう今後も支援していく。

⑤町として可能な限り連携協力しており、今後も対応できる企画については連携を大切にし、行政として適切な役割の範囲を意識しながら対応していく。

就学援助制度の拡充を

教育長「入学用品費は早期支給。児童・生徒会費は来年度から助成対象」



泉 美和子 議員

議員 入学準備金が入学後に支給される問題について、来年度から改善を表明する自治体が県内でも見られるが、町ではどのように考えているのか。また、増額支給できないかということ、引き続き生活保護基準の引き下げによる影響が出ないようにするべきと思うが見解をうかがう。

また、PTA会費・生徒会費・クラブ活動費への助成を実施するべきと考えるが見解をうかがう。

議員 入学準備金が入学後に支給される問題について、来年度から改善を表明する自治体が県内でも見られるが、町ではどのように考えているのか。また、増額支給できないかということ、引き続き生活保護基準の引き下げによる影響が出ないようにするべきと思うが見解をうかがう。

い世帯や、2月末日までに確定申告を済ませた世帯に対しては3月中旬に支給、その他の世帯については申告後の申請順に審査を行い速やかに支給することを検討している。また、増額については考えていない。



入学にはいろいろ準備が必要

次に、生活保護基準の引き下げによる影響についてだが、現在前年の所得状況が基準の1・3倍以内の世帯を対象とし

ており、当分の間この基準を維持したい。

会費については、児童・生徒会費は来年度から助成対象とする。PTA会費については今後更に検討していく。クラブ活動費については活動内容に差異があり一律に助成するのは難しい。部活動及びスポ少活動の派遣費については、全額助成しており他自治体より充実している。

若者世帯へ家賃補助制度を

議員 人口減少対策の一環として、若者世帯及び単身世帯の転入・定住促進により町の活性化を図るため、賃貸住宅の家賃補助制度を実施するべきと思うが見解をうかがう。

町長 町ではこれまで定住促進対策として各種事業を行ってきたおり、一定の成果があったものと認識している。賃貸家賃補助制度については、転入や転職等で転居が想定される方がおられるので慎重な検討が必要だ。また、町営住宅に住んでいる7割が50歳未満であり、民間アパートはほぼ満室状態であるなど、若い世帯の転入については一定の役割を担っていると考えている。従って現状においては質問の制度は馴染みにくいと認識している。

【美郷町監査委員】

次の方の選任に同意しました。



深澤克太郎氏 (大柳)

【美郷町教育委員会委員】

次の方の任命に同意しました。

高井 真純氏 (琴平)

【美郷町固定資産評価審査委員会委員】

次の方の選任に同意しました。

【再任】3名とも

檜森 吉裕氏 (馬町)
伊藤 光司氏 (天神堂)
佐々木竜孝氏 (土崎北部)

【人権擁護委員】

次の方の推薦を可決しました。

【再任】

中村しげ子氏 (元本堂北部)

【新任】

枝川 慶悟氏 (東高方町)

採決結果

採決で賛否が分かれた議案等を掲載しています。議長は採決には加わりません。 ○：賛成 ●：反対

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	議決結果	
議員名	澁谷 俊二	鈴木 良勝	伊藤 福章	中村美智男	村田 薫	泉 繁夫	深澤 均	武藤 威	泉 美和子	細井 邦男	熊谷 隆一	藤原 政春	飛澤龍石工門	森元 淑雄	熊谷 良夫	杉澤 隆一	深沢 義一	高橋 猛		
◎平成28年第10回議会定例会 (12/6~12/15)																				
議案第79号 工事請負契約の一部変更について																				
	○	○	○	●	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第95号 平成28年度一般会計補正予算第8号																				
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

12月定例会 請願・陳情

採択し、意見書を提出しました

- ◇安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める意見書を求める陳情 (全員賛成)
秋田県医療労働組合連合会 執行委員長 澁谷 一
- ◇地域の実情に応じた医療提供体制の確保を求める意見書を求める陳情書 (全員賛成)
秋田県医療労働組合連合会 執行委員長 澁谷 一
- ◇介護保険の給付縮小・負担増を中止し、充実を求める国への意見書提出の陳情 (全員賛成)
秋田県社会保障推進協議会 会長 渡辺 淳
- ◇「高額療養費」「後期高齢者の窓口負担」の見直しにあたり、現行制度の継続を求める国への意見書の提出の陳情 (全員賛成)
秋田県社会保障推進協議会 会長 渡辺 淳
秋田県保険医協会 会長 草薙 芳明

総務常任委員会

町が支払う収納手数料
口座振替 10.8円/1件
コンビニ 61.56円/1件

所管事務調査
3常任委員会で実施

コンビニ納付の現状

コンビニ納付は平成26年6月から実施している。納付率は向上しているが、町がコンビニに支払う収納手数料は一件あたり61.56円かかる。一方金融機関に支払う口座振替手数料は一件あたり10.8円なのでコンビニに町が支払う手数料は高い。コンビニ納付のメリットは24時間利用できることだが町負担の手数料がかかり増しになる、との説明を受けた。

調査意見

税の公平性を保ち、町民が納税に理解をもって納付してもらうために、町広報やホームページ、納税通知書等で税制や納税方法を周知する機会

をとらえて、便利なコンビニ納付とその経費についてもお知らせしながら、理解してもらうことも必要でないか。

固定資産税の納付状況

収納率は平成27年度は91.87%で平成25・26年度を上回った。納税義務者は9915人だが未納者は426人おり、未納金額は5400万円弱となっている。滞納者には、納期限後20日以内に督促状を送付している。直ちに差し押さえ等の滞納処分をしなければならぬが納税相談に応じている、との説明を受けた。

調査意見

固定資産税の滞納対策は納税者に配慮した対応をしており、今後も滞納解消に向けた取り組みに努め、収納率向上につなげてもらいたい。

売却可能な町有地

公売を実施してきたが、現在、未売却となっている町有地が7ヶ所15筆ある。周辺の状況から今後、公売可能な町有地をさらに検討し、入札を実施する、との説明を受けた。

調査意見

普通財産以外の町有地で未利用地となっている土地を調査し、公売可能な未利用地は積極的に売却する方向で進め、もらい適切な財産管理に努



町内に点在する未利用地を調査

力されたい。

閉会中の所管事務調査を総務常任委員会は11月16日、教育民生常任委員会は11月18日、産業建設常任委員会は11月15日に実施しました。その概要と調査意見を要約し掲載します。

食育の観点からも 地場産食材の一層の使用を

学校給食センターの 運営状況について

南北2つの学校給食センターでは小中4校に1510人分を提供している。地場産の野菜15品目の使用率は54.5%（県の目標値35%）で、目標を大きく上回っている。「美郷給食の日」を設け郷土への愛着を深めたり、食中毒事故を防ぐ取り組みや食品アレルギーへの対応もしている。また、異物混入には特に注意を払っている、との説明を受けた。

災害発生時の備蓄品 について

食料品の保管場所は町内4カ所があり、600人の食料3食3日分を確保、防災資機材は水防倉庫に保管、発電機は各公共施設に備えてある。東日本大震災時の経験から備蓄品を充実させた、との説明を受けた。また、現地視察で北ふれあい館備蓄品倉庫の保

管状態等を確認した。

■調査意見

職員は住民の生活を守る為、今後も災害時に迅速な対応ができる体制を整備するとともに、心構えを促してほしい。また災害対応におけるドローンの配備の検討をしてみてもどうか。

認定こども園の安全 対策について

認定こども園の職員は、3園合わせて152名で、各園に看護師1名を配置し、体調不良の兆候が見られる場合は、すぐに保護者に知らせるようにしている。ヒヤリハット事例の情報を3園で共有し、注意喚起を図っている。また、職員研修は全員が同じものを受講し、役立てられるよう勉強会を重ねている、との説明を受けた。その後、千畑なかよし園を視察した。

■調査意見

事故未然防止マニュアルを全職員が共有し取り組んでいる。児童の健康管理は徹底されており、今後も安全な保育に努められたい。正・臨時職員一体の現在の安全体制を高く評価する。保護者の多様な要望に対応していくため、対応マニュアルの作成が必要と思われる。



災害時に活躍する備蓄品倉庫（北ふれあい館）

各種補助金を広く周知

農業経営体への補助 金について

経営体に対する補助事業は、春に全農家へ「経営所得安定対策等のしおり」を配布し、9月頃に次年度の事業要望把握のため、広報やチラシで事業を周知しながら要望の受付をしている。

また、JAを通じて申し込む場合もあるので、JAにも合わせて周知を図っている。国の補正予算に関連した機械導入の要望のとりまとめに時間がない場合は、直接農家や集落営農、法人等に対してダイレクトメールで知らせている、との説明を受けた。

■調査意見

各種補助金の事業の周知については、時間的な制約がある場合もあるが、大規模農業経営体だけではなく公平性の観点から、小規模農家へも広く周知されたい。

農地中間管理機構を介して農業経営を委託する農家が増えているが、圃場が分散された状況では作業効率が悪いことから、農地の集積を進めるべきであり、併せて法人化支援を引き続き進められたい。

下水処理の現状と将来方向について

公共下水道の処理可能人口は4284人で接続率53.8%。農業集落排水の処理可能

道の駅の運営実態 について

現在、農産物直売組合員に対して1日4回販売状況をメール配信して補充を促し、商品の充実に努力している。また、施設が国交省と町の施設に分かれているため、維持管理等運営上不便がある、との説明を受けた。

■調査意見

現在、組合員数が減少傾向にあるようだが、六郷・千畑地区へも組合員募集を働きかけるなどして増やす努力をするよう指導されたい。国交省管轄分の施設にも自動販売機等の設置の許可が得られるよう働きかけることを期待する。



左が町の施設（売店・レストラン） ← → 右が国交省の施設（トイレ・インフォメーション）

活発な意見交換

住民と議会との懇談会を10月24・25・26日の3日間、9会場で開催し、99名のご参加をいただきました。その主な内容と回答を報告します。

政務活動費はない

住民 北海道へ視察に行ったということだが、政務活動費を使っているのか。
議会の回答 当町議会は、政務活動費や費用弁償の支給はなく、行政視察研修は、議会活動に対する補助金と自己負担により実施している。

検討を重ねていく

住民 議員定数を増やして報酬を下げるという考えはなかったのか。
議会の回答 定数については6回にわたり勉強会や議論を重ねた結果、2人削減することとした。報酬については今後も検討していく。

適切な対応をする

住民 花岡集落からせせらぎ公園に向かう三叉路付近は、側溝が落葉で埋まり水が道路に溢れたり、冬期は除雪で側溝が埋まり水が溢れだすことがあり、凍って危険な場所なので対応してほしい。
町の回答 冬期間の状況を含め現地を確認のうえ、適切な対策を講じる。

町の回答 町道中央通り線への町道中継田線取り付け部分の交差点改良については、民地との兼ね合いもあり、どのような整備が可能か検討する。

注意喚起の表示を

住民 役場南側の見通しの良い交差点で事故が多発している。注意喚起の看板など安全対策をしてもらいたい。
住民 町道愛宕・四天地線は速度を出して走る車が多いが、明田地集落内の交差点には標識がないところが多い。交通標識でないにしても、注意喚起の表示をしてほしい。

舗装補修を

住民 後三年の踏切から君堂踏切付近の間の県道は、途中で轍の補修を行っているが、通学路でもあり残りの部分もなるべく早く実施してほしい。
町の回答 道路管理者である県に要望する。

T字路にできないか

住民 冬期間、上畑屋方向から琴平に向かった場合、琴平への出入り口付近が凍って危険だ。Y字路で見通しも悪いのでT字路にできないか。

築堤と交通安全対策

住民 横手川の堤防は、大久保集落と大仙市の境で一部途切れる箇所があるので、早急に築堤してほしい。また、舗



明田地の会館で行われた懇談会

装された堤防道路を猛スピードで走行する車があり交通安全対策をしてほしい。
町の回答 築堤および交通安全について、河川および道路管理者の県に要望する。

通学時間帯に合う除雪を

住民 大坂から千畑小学校への通学路で、一丈木公園の北側は冬季、歩道除雪が登校時

まで間に合わないため車道を歩いている。また、一丈木公園には「なだれ注意」の看板が立てられており、危険な場所を歩かせるのは心配だ。歩道除雪や壁面の排雪をきちんと行ってもらいたい。

町の回答 早朝除雪は、通勤通学時間帯前の朝7時には終了することを原則としているが、大雪で作業が遅れた時や、明け方に降った時はやむを得ず日中に除雪をすることもあ

グリーンベルト設置を

り、ご理解をお願いする。公園の壁面からせりだした雪が危険である場合はその都度、除去していく。

住民 旭町から六郷小学校への通学路で、外側線が消えてほとんど見えない状態になっている。児童の安全面から白線の引き直しと、グリーンベルトを設置すべきではないか。

町の回答 優先度、緊急度等を考慮し、歩行者の安全を損なわないよう順次対応していく。

河川の浚渫を

住民 大道川に堆積物が多く浚渫してもらいたい。
町の回答 今後、計画的な浚渫が必要だと思いが、発生する土砂の置場の指定に苦慮している。運搬経費等をふまえて極力地域内に設けることを原則としているので、地域理解を得ながら対処していく。

看板を設置し注意喚起

住民 六郷の清水の涵養池にゴミが流れ込んでいるのを目にするたび、地下水に不安を感じる。安全性を確認し管理を徹底してほしい。



宮崎の交差点付近の涵養地

町の回答 涵養池への注水期間は11月から4月までとなっている。注水前に堆積した土砂やゴミ等の混入物を除去しているが、防護柵の外からゴミの投げ込みも見られるので、看板を設置するなどして注意喚起をしていく。



右側が一丈木公園台の上

「若い世代」との意見交換会を実施 商工会青年部・JA 青年部

若い世代の方々と「人口減少時代におけるこれからのまちづくり」をテーマに、10月20日、中央ふれあい館で意見交換会を開催しました。



中央ふれあい館で行われた意見交換会

危険空き家対策を

住民 旭町町内に大変危険な空き家があり、車や人通りのある場所なので対策をしてほしい。

町の回答 空き家所有者全員に対し、適正管理を促すため年2回文書を送付している。また、管理不十分な空き家については個別に指導を行っている。ご指摘の空き家については町でも現状は承知しており、所有者や親類への働きかけを継続していく。

ラベンダー園の遊具増設を

住民 ラベンダー園にシーソーなどの遊具を増やしてほしい。壊れて撤去されたあとの補充がない。



ラベンダー園の遊具

町の回答 子どもたちが普段気軽に訪れ遊べる公園として遊具を設置していたが、近年、老朽化にともない安全性に懸念が生じた遊具は撤去している。今後、ラベンダー園の遊具の利用状況等を調査しながら、設置の必要性について検討していく。

若い世代との意見交換会は、3回目ですが今回は26名の参加をいただき「人口減少時代におけるこれからの町づくり」をテーマに話し合いをしました。初めにプロジェクトを使って町の人口の現状や定住対策の事業について説明をし、意見交換にはいりました。

仕事について

【商工会青年部】 建設業をしているが、職人が高齢化しており継承者がいないことに不安

をもっている。行政には、技能者の育成にもつとめを向けてほしい。

防火施設の改善を

住民 明田地域内に防火用水はあるものの、ポンプ車が来て汲み上げるとすぐに尽きてしまう。また、消火栓もあるが、使うと各家庭の水道の出が悪くなるし、消火栓が凍結したこともある。機能を失わないように改善してほしい。

町の回答 実際の消火活動では、自然水利も含めて複数の水利にて活動するので、心



明田地域内の防火水槽

配されていることが起こらないように広域消防、消防団に現状について周知する。しかし火災発生時は消火活動が最優先となるので、ご理解いただきたい。また、消火栓については、内部は凍結の心配はないが、キャップなどの外部可動部については凍結することがあるため、消防署、消防団が点検を実施し、凍結防止措置をとり確実に可動することを確認している。

【JA青年部】 農家も高齢化してきており、後継者のいない農家が多い。個々の農家が収入をあげ、安定した経営ができるよう、町からは農作物のブランド化に支援してほしい。また個人では数量が確保できないためブランド化することは難しいので、町として美郷はこれだというブランド作物がほしい。

【商工会青年部】 農業をやりながら会社を営んでいる。農業は父が主にやっており、父親が農業をやめたら自分は商売に専念したい。小規模な農家ではやっていけないと思う。

【議員】 この地域を存続していくには、企業誘致も大事だが地域資源である農業も大事である。ブランド化については、関係機関で知恵を出し合い頑張っていきたいと思う。

人口減少・定住対策について

【商工会青年部】 人口減少・定住対策として町では、21の

事業をあげているが多く感じる。それを活用している人は少ないのではないか。事業メニューはターゲットを絞って、そこに集中した施策をやったらどうか。

【議員】 人口減少を抑えることは難しい。交流人口を増やし、また若い世代に、いかに定住してもらうかが課題である。そのため町では様々なメニューを出して幅広く対応をしている。

【JA青年部】 人口減少については、何かに特化しないと対応できないのではないかと。企業誘致して仕事を増やすか子育てに手厚い対策を増やすか思い切ったことをしないと減少する一方だと思う。

【議員】 町がいろいろ事業を行っても、それを活用できないでいる人もいる。仕事を継ごうか迷っている若者に声をかけ、指導してやることも大切だ。

【議員】 人口減少を考えると未来への不安が出てくるので、あまりそのことにとらわれ過ぎないように今自分ができるこ

とを精一杯やることだ。
【商工会青年部】 人口が少なくなっても残るところは残る。オンラインワンになって頑張りたい。

結婚について

【JA青年部】 知人の紹介で結婚した。以前、バレーボールをやっており、若い人達との交流があったし合コンにも行ったので、それなりに出合いの場はあった。

【商工会青年部】 APP(※)で昨年に街コンをやったが、せっかく出合いの場を設けても、申し込みが少なく人を集めるのに苦労した。街コンにコンプレックスというか恥ずかしいという気持ちがあるのではないか。

【議員】 以前、町でも結婚相談員を置いたり出合いの場を作ることをやっていたが、なかなか成果が出なかった。名称や、やり方を変えてやってみてはどうか。

【商工会青年部】 町内の企業に頼んで、未婚者の意見交換

会など、組織を活用した出合いの場を作っていたけども、いいのではないかな。

終りに

懇親会では「もう少し長く時間を取ってもらいたい」「定期的にもう少し後の方が良かった」「スポーツコンパを予定している」などの話も出ました。

今回も全員男性でしたが、女性の方々とも意見交換できればと思います。

※APP：六郷地域の有志が結成した地域活性化団体。

第9回臨時会(10月25日) 美郷中学校に壁画

10月25日、第9回臨時会を開催し、工事請負契約の締結や補正予算に係る議案2件の審議を行い、原案を全員賛成で可決しました。
 契約の締結は仙南東部地区の簡易水道施設に紫外線処理設備を設置するもので、飲み水の安全性をより高めるものです。
 一般会計補正予算については、住宅リフォーム補助金申請の増加に伴う追加や、11月に美郷中学校に展示された壁画のセレモニーに伴う経費など、歳入歳出それぞれ495万1千円を追加し、総額を1億1255万8千4百50円としました。

第11回臨時会(12月27日) あったか山源泉ポンプ故障

12月27日、第11回臨時会を開催し、専決処分報告2件、財産の取得や補正予算に係る議案2件の審議を行い、原案を全員賛成で可決しました。
 財産の取得は町役場の情報セキュリティを強化する機器を購入するものです。
 一般会計補正予算については、12月21日にあったか山の源泉ポンプが故障したことによる部品の交換工事費、ミニバスケットボールの県大会に町内3チームが出場することに伴う選手派遣費補助金の増額など、歳入歳出それぞれ1億345万4千円を追加し、総額を1億1256万9千3百60円としました。

表彰

秋田県自治功労者表彰

◆主な経歴

- 昭和63年千畑町議会議員
- 平成16年美郷町議会議員
- 平成17年副議長
- 平成21年議長
- 平成26年秋田県町村議会議長会会長
- 平成27年全国豪雪地帯町村議会議長会会長



高橋猛議長

第5回「シリーズ みさとの大家族」



今回は、大川正寛さん一家を取材しました。9人家族でしたが、長女の綾子さんは都合により不在とのことでした。普段楽しんでいることは何ですかと伺うと、鉄治さんと幸子さんはグラウンドゴルフ(玄関に数本の優勝トロフィーが飾ってありました)、正寛さんは熱帯魚、由起子さんは自宅で飼っている犬の散歩をすることが楽しみとのこと。家族が健康で仲良く笑いの絶えない家庭でありたいと話されました。

(取材・藤原)

議会広報常任委員会行政視察報告

読まれ、伝わる紙面づくりを目指して



宮城県川崎町の議場を使って研修

町民の方々に読まれ、より伝わる議会広報づくりを目指して、10月17日、岩手県金ケ崎町、18日、宮城県川崎町の議会を視察しました。
 どちらも全国町村議会広報コンクールで優秀な成績を収めている議会です。
 金ケ崎町議会広報の特徴は、町民主役のページが設けられ、町民参加型であることや、広

報委員会は議長の指名による委員会構成となっていることなど参考になりました。
 川崎町議会広報の特徴は、明確な目標として、議会広報全国コンクールに入賞することに基づいた紙面づくりを行っていることでした。また町民参画の一案として「写真提供協力ボランティア」を採用していることなどでした。

今回は、学ぶところの多い研修でした。今後、みさと議会だよりをよりよいものにするため、編集に生かしていきたいと思えます。

★クイズ

【問1】 ○○○○収納実績は3604件 → 【正解】 (3)(6)(0)(4)

【問2】 北海道中富良野町営ラベンダー園に咲く美郷雪華は、○○○株 → 【正解】 (2)(0)(0)

◎クイズ当選者 抽選の結果、次の方々が当選しました。

鎌田 和子様 高橋 孝之様 藤井 隆子様

みさと議会だより
 第49号
 クイズ
 正解と当選者

シリーズ キラリ美郷人 vol.45

おやじバンド ～笹竹オールスターズ～



小田島純一さん(64歳)
(旭町)



熊谷茂さん(63歳)
(寺田)



六郷高校同窓会入会式での演奏

結成のきっかけは

メンバー4人全員が六郷高校の同窓生で、高校時代からバンドに興味をもって活動していましたが、就職で別々になってしまい自然消滅状態でした。しばらくして、退職等で地元に戻ってきた人もおり、5年程前に再会し、もう一度やってみないかと話が盛り上がり「笹竹オールスターズ」を結成しました。

活動内容は

主な活動は、毎年行われる六郷高校同窓会入会式のアトラクションでの演奏で、ほかには事業所や施設などから依頼を受けて活動し

ておりますが、全てボランティアでやっております。

今後の目標は

70歳くらいまでは、現状で活動したいと思っています。その後は、メンバーもお世話になるであろう老人ホーム等を回って、入所されている方々に若かりし頃の名曲を聴いていただくことで、いくらかでも元気を出していただくお役に立てばと思っています。

いつまでも元気で活動できることを心から願っております。ご協力ありがとうございました。(取材・鈴木)

クイズ

問1 住民と議会との懇談会に参加した住民は〇〇名

問2 若い世代との意見交換会のテーマは「〇〇〇〇時代におけるこれからのまちづくり」

〇に入る言葉や数字だけをお答えください

応募方法

はがきにクイズの答え、氏名、住所、年齢を書いてお送りください。正解者の中から抽選で3人の方に粗品を差し上げます。

また、議会へのご意見などもお待ちしております。

あて先

〒019-1541 美郷町土崎字上野乙170番地10
美郷町議会事務局 議会だより係

締切日

平成29年2月15日(当日消印有効)

●次回定例会は、3月上旬を予定しています。
傍聴をお待ちしております。

美郷町議会事務局

〒019-1541 秋田県仙北郡美郷町土崎字上野乙170番地10(美郷町役場内)
TEL.0187-84-4912 FAX.0187-85-3102 E-mail gikai@town.misato.akita.jp

美郷町ホームページ <http://www.town.misato.akita.jp/>



地球環境にやさしいベジタブルインキを使用しています。